

令和2年度 町行政施策及び予算要望事項について

要望日 令和元年7月30日

回答日 令和元年11月6日

進捗状況報告日 令和2年10月予定

総務常任委員会

1 防犯対策の強化【生活環境課】

- ① 地域の要望に対応した青色回転灯搭載車のパトロール充実（巡回数の増加）
- ② 防犯カメラの設置
- ③ アウトレットへの交番設置要望

（回答）

- ① 青色防犯パトロールについては、青色回転灯を点灯回転させる他に音声による広報活動を行い、活動強化を図っております。また、巡回数や巡回範囲の拡大を図るため、引き続き、各行政区等の協力も仰ぎながら、広報、HP等で啓発活動を行い、パトロール実施者証取得者の増員に努めてまいります。
- ② 防犯カメラの設置については、町内主要交差点6箇所を設置しておりますが、今後は、防犯カメラ設置方針等を定め、牛久警察署等と連携しながらカメラの設置を推進してまいります。
- ③ アウトレットへの交番設置要望については、引き続き、阿見吉原地区の市街化の進捗や治安の状況等を見ながら要望してまいります。

2 防災対策の強化【防災危機管理課】

- ① 防災ボランティアの育成と防災ボランティアセンターの組織化
- ② 危険箇所の総点検（ブロック塀等）
- ③ 防災会議・防災協議会等への女性委員の増員
- ④ 消防団員の処遇改善（手当の増額等）

(回答)

- ① 災害ボランティアの活動拠点となる『阿見町災害ボランティアセンター』は町社会福祉協議会が設置・運営を行っております。
町では、災害発生時の円滑なボランティア活動を推進するため、平成 29 年 10 月に町社会福祉協議会と「阿見町災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」を締結しました。今後も引き続き平時からの連携を深めるとともに、設置・運営に必要な支援を推進してまいります。
- ② ブロック塀等の倒壊危険箇所の把握・安全点検等について広報・啓発に努めてまいります。
- ③ 防災に関する重要事項を審議する防災会議委員は、災害対策基本法及び町防災会議条例に基づき、防災関係機関等の代表者を選任しております。
町では、女性の視点を反映した防災対策を推進するため、平成 26 年 4 月に新たに「男女共同参画推進会議」及び「消防団女性部」の代表者を委員として委嘱し、現在 33 名の委員の内、女性委員は 2 名という状況であります。
今後も引き続き、防災計画や防災組織等における女性の参画を積極的に推進してまいります。
- ④ 一般団員の年間報酬額については、今年度から改定し 10,400 円から 20,000 円に引き上げたところですが、未だ県平均の年間報酬額には達していない状況であります。今後も中長期的に段階的な報酬額の改定を検討し、消防団員の処遇改善を進めていくことで、消防団員の確保・団員の志気の向上に繋げていきたいと考えております。

3 男女共同参画社会の推進【町民活動推進課】

- ① 女性団体の育成強化と活動支援
- ② 各種委員会・審議会への女性の登用 30%以上の早期実現

(回答)

- ① 女性団体の育成強化と活動支援については引き続き、地域における女性団体に対し、女性団体間の情報交換の場となる交流会、合同研修会等を実施してまいります。
また、各団体が実施する自主的な勉強会・研修会に対する講師派遣や講師料の助成を実施しながら女性団体の育成、支援をしてまいります。
なお、平成 30 年度から男女共同参画センターでは、女性活動団体と協働して男女共同参画推進に関する「出前講座」を始めており、引き続き、団体構成員のスキルアップ研修や活動の場の提供等について支援を行ってまいります。
- ② 委員会・審議会への女性の登用については、事務局をもつ各課等に対して積極的に要請しております。

管理職（部長職，課長職）に対しても，各種委員会・審議会の構成員に関して，適材適所を踏まえた男女の構成に努めるよう働き掛けをしてまいります。

4 補助金制度の見直し【財政課】

（回答）

「補助金交付金に関する調」を基に現状分析を行い，補助の必要性や効果等について検証するとともに，外部評価の活用等により，補助金制度の見直しと適正化を進めてまいります。

5 ゴミと産業廃棄物不法投棄への解決と防止対策【廃棄物対策課】

- ① パトロール・監視カメラの強化及び不法投棄物の回収強化

（回答）

- ① 不法投棄や不適正残土の不法行為を日常的に監視するため，警察官 OB の環境保全監視員による町内パトロールを実施し，事案の早期発見と未然防止に繋がる監視活動の強化を図ってまいります。

また，監視カメラを増設するほか，悪質な不法行為等の事例が発生した際には，県や警察との連携により厳正に対処し，監視や抑止体制の充実強化に努めてまいります。

さらに，シルバー人材センターによる不法投棄パトロールや町内クリーン作戦の実施等，町ぐるみのポイ捨て防止意識の啓発やごみの回収強化に努め，環境美化の推進に取り組んでまいります。

6 議会事務局職員の増員【政策秘書課】

（回答）

職員定数は，行政需要の変化に対応し，効果的・効率的に事務事業を遂行するため，全体及び個々の部署の業務遂行に必要な人員を既存事業の見直しや ICT 等の導入などによる効率化も含めた総合的調整により管理しております。

引き続き，公共の福祉の増進，町民サービスの向上が図られるよう，全庁的視点をもって適正な職員定数管理を進めてまいります。

7 ICT化の推進（タブレット端末の導入）【情報広報課】【議会事務局】

（回答）

ICT化の推進は政府が強く進めているところであり、総務省においては令和元年度の重点施策としても取り上げております。タブレット端末の導入については、ペーパーレス化による印刷代・紙代などのコスト削減や資料準備などの業務負担軽減など複数のメリットがあり、近隣市町村の状況や活用方法などを確認しながら予算計上を検討してまいります。

民生教育常任委員会

（保健福祉部）

1 障がい者に優しいまちづくり【社会福祉課】

- ① 全ての課において障害者優先調達推進法の実践に取り組む
- ② 就労機会の拡充

（回答）

- ① 町では、障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労施設からの物品等の調達について毎年度調達方針を定め、調達に関する目標額達成を目指し取り組んでおります。

前年に引き続き、全庁での取組を推進するため、各課に優先調達法の趣旨の理解と障害者就労支援施設に対する物品や役務及び委託等の周知を図り、障害者就労施設の受注機会の拡大に取り組んでまいります。

- ② 就労や職場復帰を目指す障害のある方や、障害者を雇用している或いは雇用を検討している事業主等の方に対しては、障害者雇用カウンセラー等を配置している茨城障害者職業センターや、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等と連携し就労支援に努めるとともに、雇用契約に基づく就労が困難な方に対しては、就労継続B型事業所の拡充に努めてまいります。

また、民間事業者による障害者の雇用促進について、農福連携も視野に入れ、就労機会の拡充が図れるよう検討してまいります。

2 病児保育の整備【子ども家庭課】

(回答)

病院内託児施設を持つ医療機関と実施に向けた調整を続けております。施設改修のための、国・県の補助金確保や町予算措置を進めてまいります。

(教育委員会)

1 学校給食の充実【給食センター】

- ① 学校給食の残渣を現状の50%以下にする

(回答)

- ① 毎日計量している配食量と残食量の記録から、献立による残食の傾向は把握しており、その上で今後はどうしたら残食を減らせるかの検討が必要になっております。

残さずに食べるための食材の組み合わせや、味付けの変更等、献立や調理を工夫して残渣の減量に取り組んでまいります。

また、食べる時間が少しでも長く取れば、残食量が減ることも考えられますので、栄養士や調理員の給食訪問時に、効率の良い配膳準備や片付けの指導に努めて、残渣の減量に取り組んでまいります。

2 通学者への支援【学校教育課】

- ① 町内小・中学校への通学にかかるバス料金の無料化

(回答)

- ① 町内小・中学校への片道の通学距離が、小学校で4km以上、中学校で6km以上となる地区及び学校統廃合により遠距離通学となる地区の通学者について、バス料金を無料としたスクールバスの運行を行っております。

また、6km以上の自転車通学者へは、引き続き遠距離通学者補助金を交付してまいります。

路線バス利用の通学者においては、町からバス会社に補助金を出してバス路線の運行を維持しております。遠距離通学ではなく、路線バスを利用して通学している児童・生徒への無料化は現在のところ考えておりません。

3 閉校になった学校の利活用【生涯学習課】

- ① 閉校になっている学校についての地元からの要望の実現

(回答)

- ① 引き続き地元要望による地域交流拠点施設として整備を進めてまいります。

4 歴史的文化遺産の適正保存【生涯学習課】

- ① 歴史民俗資料館の整備
- ② 古民家の保存・利活用の推進

(回答)

- ① 資料の収集，建設場所，財政状況など，総合的な観点から判断しながら，整備に向けた検討を進めてまいります。
- ② 多額の予算が必要であるため，保存及び利活用を調査・研究してまいります。

産業建設常任委員会

1 町道第0104号線フタムラ化学前への右折レーンの早期設置【道路公園課】

(回答)

フタムラ化学前の右折車滞留による渋滞の解消方法としては，右折レーンの設置だけではなく，安価で時間のかからない時差式信号機への変更も有効な手法の一つと考えております。

今年度6月に，渋滞状況を具体的に把握するための交通量調査を実施したことから，まずは，時差式信号機への変更の可能性について，警察と協議を行い，渋滞解消に有効であると認められれば，信号機変更要望を警察署に提出します。また，時差式信号機が有効な手法とならない場合には，右折レーンも含めた渋滞解消方法の検討を行ってまいります。

2 都市計画道路「中郷・寺子線」の残余部分の早期整備【道路公園課】

(回答)

現在、町で事業化されている都市計画道路整備事業は「寺子・飯倉線」の一路線ですが、令和6年度の供用開始に向け、本年度から国の補助金を受けて事業を進めているところです。しかし、国からの補助金配分が非常に低い状況のため、当初のスケジュールどおりの整備が厳しい状況となってきております。

第6次総合計画後期基本計画の取り組みとして、「中郷・寺子線」も含めた新たな都市計画道路の整備について検討する計画となっておりますが、まずは寺子・飯倉線の整備を優先したいと考えております。

3 交差点付近の歩行者が滞留する部分の安心安全対策の早期実施【道路公園課】

(回答)

今年度の夏休み中に、小中学校の通学路及び未就学児の集団移動経路における危険な交差点について、警察、茨城県、学校関係者を交えた緊急安全点検を実施し、安全対策について協議いたしました。現在は、それぞれの施設管理者が具体的な対策に向けて検討中ですが、町管理の交差点につきましては、今年度から対策工事を実施する方向で検討しております。

4 雨天時における雨水排水路付近の冠水箇所の現状調査【道路公園課】

(回答)

雨天時に大きな冠水が起こる場所につきましては、これまでの記録や経験により把握できておりますが、更に町内全体を把握できるよう努めてまいります。また、それぞれの冠水箇所についての詳細な状況や原因の調査を進めてまいります。